令和２年度　　学　校　評　価

大和高田市立看護専門学校

本校の実施している教育活動において、質の高い実践的な職業教育を教授できるよう「授業評価」「学校自己評価」「学生の満足度調査」について自己点検・評価を実施した。

学校運営の改善と発展を目指し、看護教育の充実・向上に取り組むため、その結果をここに報告する。

Ｉ．授業評価

第 35 期生(1 年生)、第 34 期生(2 年生)、第 33 期生(3 年生)を対象に、令和 2 年度は全 90 科目のうち、実習科目 14 科目を除く、76 科目につき実施した。「授業評価アンケート」を使用し、5 段階評価(5：常にあてはまる、4：かなりあてはまる、3：大体あてはまる、2：あまりあてはまらない、1：全くあてはまらない)で、学生による授業評価を実施した。

平均値を算出して評価点とした。その結果を表 1、図 1 に示す。

表１　令和元年度　授業評価

		R2
1	この授業は、授業の狙いが明確であり、内容は無駄や重複がなく、順序立てて整理されていた。	4.11
2	学生への一方的な講義でなく、授業への興味や関心が持てた。	4.03
3	資料、スライドなどの教材の量は適切であり、わかりやすく工夫していた。	4.03
4	授業の内容は、具体例や経験談などを取り入れわかりやすかった。	4.06
5	専門用語などの馴染みのない用語に対し、わかりやすい説明があった。	4.10
6	難しくもなく優しすぎることもない授業展開であった。	4.01
7	授業の内容は表面的でなく心に響くものであった。	3.99
8	教員の声は明瞭で聞き取りやすく、話し方は単調でなかった。また、話す速度もよかった。	4.04

図１　令和２年度　授業評価レーダー　76 科目　（最終調査　2021/03/17）

1）「授業評価アンケート」結果と今後の課題

「授業評価アンケート」の評価項目 8 項目は評価点 3.99～4.10 の範囲を占めており（昨年度 3.91～4.01）、8 項目中 7 項目で 4 点台の評価を得た。最も高い評価は昨年同様①「この授業は、授業の狙いが明確であり、内容は無駄や重複がなく、順序立てて整理されていた。」で、4.11 であった。最も低い評価は⑦「授業の内容は表面的でなく心に響くものであった。」で 3.99 であった。コロナ禍で、4 月から 6 月は自宅での学習となり、課題に取り組むことが多かった。講師の方々、学生ともども授業形態の変化はあったものの、効果的な課題学習への取り組みであったと考える。後期は通常の対面授業となり、看護技術も感染防止対策を図ったうえで、学生同士で看護師役・患者役を行いながら学ぶことができた。少人数制であることは、3 密を避けることへも有利となり、本校の学習環境の強みと考える。

今後は、ICT 活用も視野に入れながら、通信環境を整えていくとともに、看護技術に関しては出来るだけ実体験を通しての学習となるよう、感染予防策を講じ、学生にとって有益な授業形態を考えていきたい。

Ⅱ．学校自己評価の評価項目の達成及び取り組み状況

文部科学省生涯学習政策局の『専修学校における学校評価ガイドライン』10 区分 57 項目による評価項目から、令和 2 年度はコロナ禍により、対外的な活動が自粛となったためⅨ「社会貢献　地域社会」を除く、本校に該当する 8 区分 46 項目を選出した。それを専任教

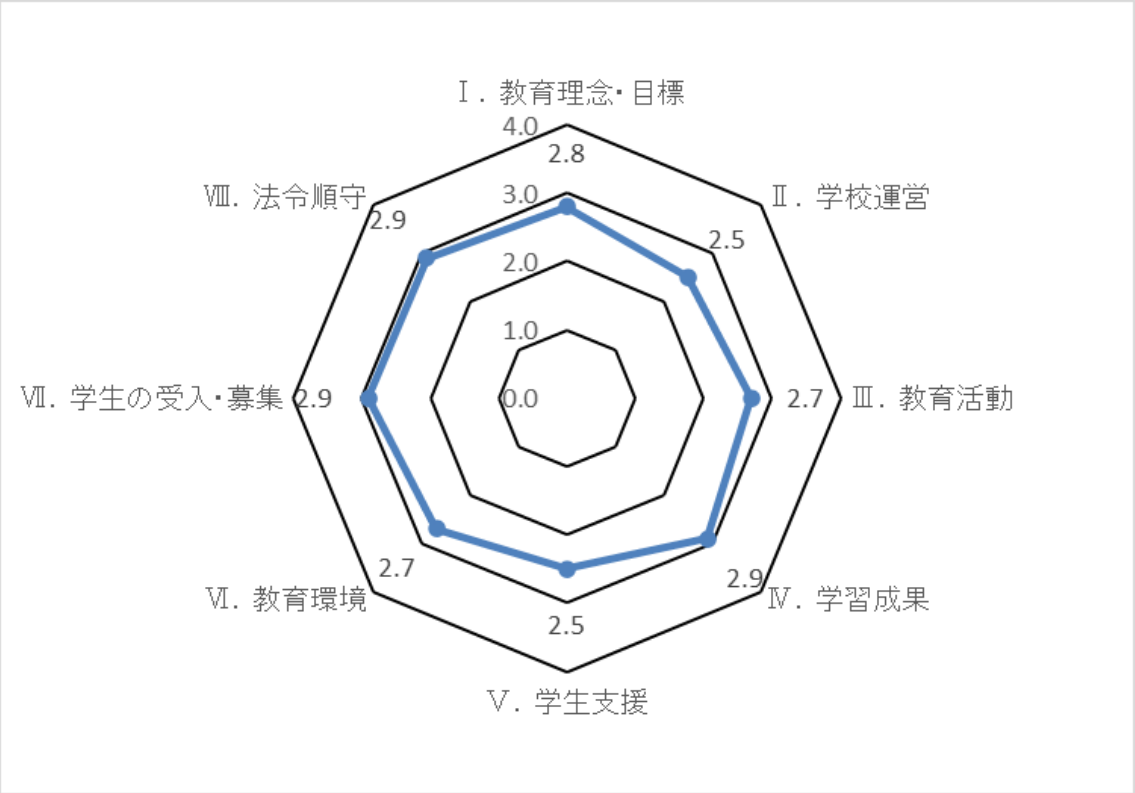
員 6 名で 4 段階評価(4：適切，3：ほぼ適切，2：やや不適切，1：不適切)し、平均した結果を評価点として算出した。結果は表 2 と図 2 のとおりである。

表 2　学校自己評価

			評価点	
			R1年	R2年
Ⅰ. 教育理念・目標	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.3	3.5
	2	学校における職業教育の特色は何か	3.3	3.2
	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2.9	2.5
	4	学校の理念・目的・育成人材像、特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	2.6	2.2
Ⅱ. 学校運営	5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.4	2.7
	6	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2.9	3.0
	7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.6	2.5
	8	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	2.4	2.5
	9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.3	1.8
Ⅲ. 教育活動	10	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.0	2.7
	11	教育理念、育成人材や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.1	2.8
	12	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.0	2.8
	13	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.0	2.8
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.0	3.0
	15	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.9	3.2
	16	成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3.4	3.2
	17	資格取得後に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	2.4	2.3
	18	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.4	2.8
	19	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネージメントが行われているか	2.7	2.3

	20	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	2.4	2.5
	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.6	2.5
Ⅳ. 学修成果	22	就職率の向上が図られているか	3.0	3.2
	23	資格取得率の向上が図られているか	3.3	3.6
	24	退学率の低減が図られているか	1.9	2.5
	25	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	1.9	2.5
Ⅴ. 学生支援	26	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.7	3.0
	27	学生相談に関する体制は整備されているか	2.7	3.3
	28	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.3	3.7
	29	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.7	3.3
	30	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.6	2.3
	31	学生の生活環境への支援は行われているか	2.6	2.7
	32	保護者と適切に連携しているか	2.4	2.5
	33	卒業生への支援体制はあるか	2.3	2.3
	34	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.1	2.7
Ⅵ. 教育環境	35	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.3	2.3
	36	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制が整備しているか	2.6	2.7
	37	防災に対する体制は整備されているか	2.5	3.0
Ⅶ. 受入募集	38	学生募集活動は、適正に行われているか	2.3	3.0
	39	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2.7	2.8
	40	学納金は妥当なものになっているか	3.1	2.8
Ⅷ. 法令順守	41	法令、専修学校設置基準の順守と適正な運営がなされているか	3.4	3.4
	42	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3.0	3.4
	43	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.6	2.2
	44	自己評価結果を公開しているか	2.7	2.4

図２　令和２年度　学校自己評価レーダー



結果は、総平均が 2.8(昨年 2.7)であった。評価の高い分野は、「Ⅳ.教育環境」が 2.9(昨年 2.5)、「Ⅶ.学生の受け入れ」2.9(昨年 2.7)、「Ⅷ.法令順守 2.9」(昨年 2.9)であった。一方、低い評価だったのは、「Ⅱ.学校運営」2.5(昨年 2.5)、「Ⅴ.学生支援」2.5(昨年 2.6)であった。

「Ⅰ.教育理念・目標」では、改正カリキュラムの検討において、理念・目的・目標につき、本校の志願者や学生に分かりやすい文言となるよう検討している。人を大事に、人としての成長ができるよう、人間力をより磨いていくことを掲げたい。

「Ⅱ.学校運営」では Wi-Fi 環境が不十分であり、オンラインに対応ができなかった。幸いにして、感染者をだすことなく対面で授業ができたが、今後の ICT 教育を視野にいれ、環境を整備する。

「Ⅲ.教育活動」では、項目 10～13 はカリキュラム編成において、見直しの着眼点となるところである。

カリキュラム編成では、授業科目・内容と共に、学則・細則もふまえて、学生に不利とならないよう、見直し、吟味を図りたい。

Ⅲ．学生の満足度調査

本校の学生に対し、1)入学の理由(1 年生のみ), 2)満足度 ; 18 項目 5 段階(5 : とてもよい, 4 : まあ満足している, 3 : どちらともいえない, 2 : あまり満足していない, 1 : 全く満足

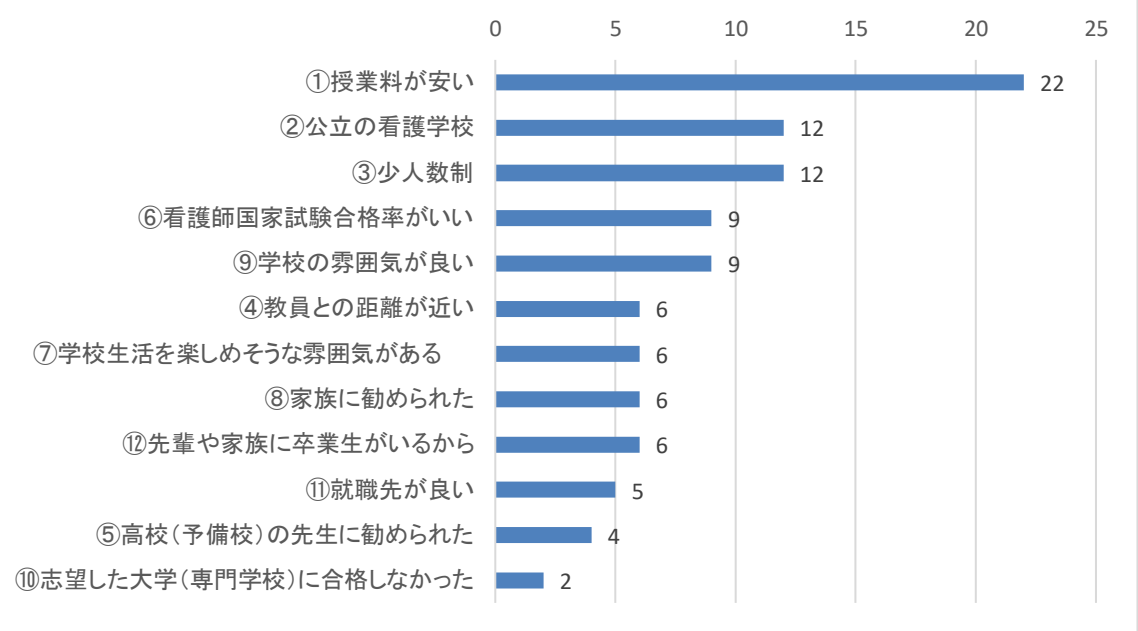
していない)で調査した。74 名に配布し、33 期生(3 年生)：23 名(3 月 2 日実施)、34 期生(2 年生)：25 名(3 月 17 日実施)、35 期生(1 年生)：26 名(3 月 17 日実施)の合計 74 名が回答した(回収率 100%,有効回答率 100%)。

学生の回答について、1)は項目別に集計し、2)は評価点の合計を集計し、平均点を出して各学年で比較した。

1)入学の理由(1 年生のみ：複数回答可)

本校への入学の理由は、①授業料が安い、②公立の看護学校、②少人数制、が上位を占めている。入学の理由について図 3 に示す。

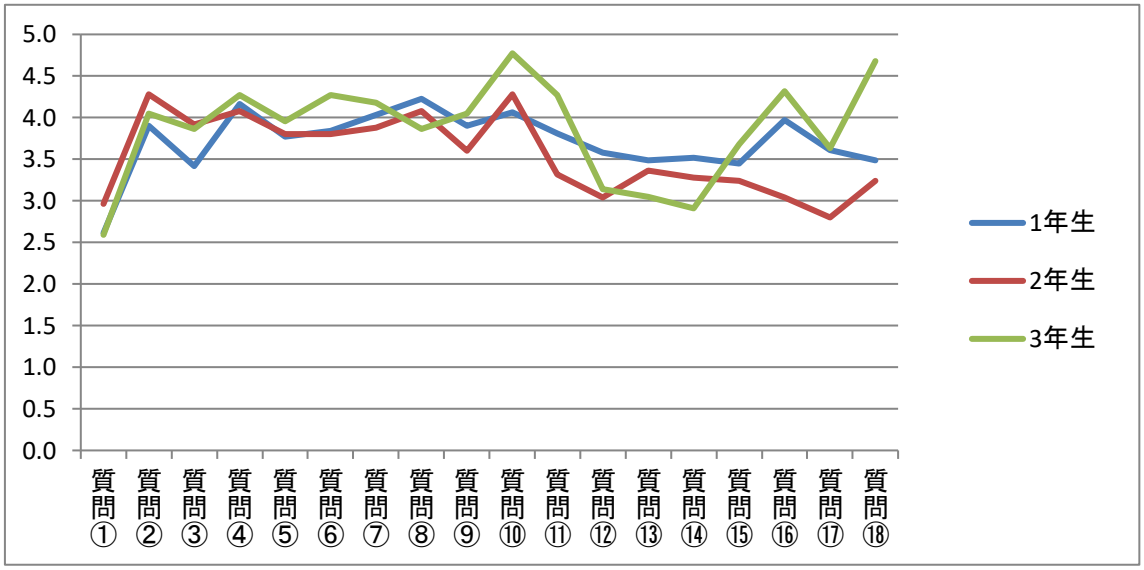
図 3　令和 2 年度　入学生(第 35 期生)　入学の理由　　N＝26



2)学生満足度の結果と今後の課題

(1)各学年の満足度(図 4)：全体での総平均は 3.7 で昨年より 0.1 ポイント下がった。学年別の総平均では 3 年生(33 期生)が 3.9 で一番高く、次いで 1 年生(35 期生)3.7、2 年生(34 期生)3.6 の順であった。3 年生では、質問⑦が 4.5 と最も高く、「アセスメント能力が身についた」「実際に患者さんの個別性に合せてできる場面が多かったため」と、コロナ禍においても、6 月以降、統合までほぼ臨地実習に行くことができたことが 3 年生の学びの力となっている。看護は実践の科学であると言われている。実際の患者を受け持って初めて学びが学生のなかで育っていく。臨地実習に出ることができなかった学校もあるなか、学生を受け入れていただいた大和高田市立病院をはじめ関係諸施設の方々に感謝いたします。

図 4.　令和 2 年度　学生満足度調査(学年比較)



(2)施設・設備について：3 項目の平均は 3.5(昨年 3.5)であった。1 年生では「少し古いとは思うが問題なく快適にすごせるから」という意見もある。老朽化は否めず、学校立替については引き続き早期の実現を進言していく。

(3)授業について：5 項目の平均は 4.0(昨年 4.0)であった。質問④が 4.2(昨年 4.2)と高い。2 年生では「演習や講義・ケース・実習のすべてが自分の力へとつながると感じているため」という意見があり、日々の学習が力となっているようである。質問⑤が 3.8(昨年 3.8)で 5 項目のなかでは低かった。3 年生が 4.0 と高く、「実際に医師や看護師さんからの話が聞けた」と、臨床の場での内容が講義中も興味が持てるもののようであった。

(4)学生支援について：10 項目の平均は 3.6(昨年 3.6)であった。質問⑩が 4.4 と高い。“実習要項”を活用し、実習目標にそって学習状況を確認する糧となっていたようである。質問⑭が 3.2 と 10 項目のなかでは低かった。奨学金については、修学支援法に則って該当者に支援している。ポスター等で、今後も学生に周知していく。

　できるだけ早急に学校のハード面を整えることは大事ではあるが、少人数という強みをいかし、学生とともに創意工夫し、魅力ある学校づくりに励む所存である。

表３　令和２年度　学生満足度

		質問項目	35期	34期	33期	平均
施設・設備	①	学校の施設や設備は整備されていると思いますか	2.6	3.0	2.6	2.7
	②	図書室の本は整備され充実していますか	3.9	4.3	4.0	4.1
	③	演習（実習）に必要な機械や物品、モデルはそろっていますか	3.4	3.9	3.9	3.7
授業について	④	全体を通じて看護師に必要な知識や技術は学べていますか	4.2	4.1	4.3	4.2
	⑤	講義について内容がよくわかり興味がもてましたか	3.8	3.8	4.0	3.8
	⑥	演習について看護過程や看護技術等の方法がよく分かりましたか	3.8	3.8	4.3	4.0
	⑦	臨地実習（病院や施設）について実習で看護実践能力は身につきましたか	4.0	3.9	4.2	4.0
	⑧	新しい分野について学べる授業が多かったですか	4.2	4.1	3.9	4.1
学生支援について	⑨	専門学校のカリキュラムを履修するのにシラバス（学習のしおり）は役立ちましたか	3.9	3.6	4.0	3.8
	⑩	臨地実習を履修するのに「実習要項」は役立ちましたか	4.1	4.3	4.8	4.4
	⑪	学生生活で困った時に相談できる体制が整っていましたか	3.8	3.3	4.3	3.8
	⑫	心身の健康管理のための保健室や学生相談室（カウンセリングルーム）が利用できましたか	3.6	3.0	3.1	3.3
	⑬	チューター制度が充実していましたか	3.5	3.4	3.0	3.3
	⑭	奨学金制度のサポートが充実していましたか	3.5	3.3	2.9	3.2
	⑮	ガイダンスが充実しており学生生活への適応がしやすかったですか	3.5	3.2	3.7	3.5
	⑯	教職員の対応は良いですか	4.0	3.0	4.3	3.8
	⑰	就職・進学についてのサポートは良いですか	3.6	2.8	3.6	3.3
	⑱	看護師国家試験対策は充実していますか	3.5	3.2	4.7	3.8
		平均	3.7	3.6	3.9	3.7